

ゲストオペとリモートシャックについて

JJ1SXA/池

ゲストオペレーター制度については、電波法施行規則第5条の2に基づく告示が改正され、1997年2月24日付の官報掲載をもって同制度は即日施行されました。

これにより、アマチュア局の開設の有無にかかわらず、無線従事者の資格を持っていれば、他のアマチュア局を訪問してゲスト運用することができるようになりました。

- 1、ゲストは、自分の資格の範囲内で、かつ、訪問先のアマチュア局の免許の範囲内で運用できる
- 2、ゲスト運用は、訪問先の局の免許人(社団局の場合は代表者または構成員)が全ての責任をもって実施するもので、必ず訪問先の免許人の立会いのもとで運用のこと
- 3、ゲストが使用するコールサインは、訪問先で運用する局のコールサインを使用しておこなうこと、そのコールサインの後には、社団局の場合と同様に、ゲストのコールサインまたは従事者免許しか持っていないアマチュアは名前を適宜送出して、ゲスト運用であることが相手局にわかるようにすること

リモートシャックについては、電波法関係審査基準の一部が改正され、「インターネットを利用した遠隔操作」の条件等が加えられ、施行期日は2004年1月13日からとなりました。

本来は、私のリモートシャック利用での運用は、自分のPCから、私の無線機をコントロールしているPCにアクセスして運用するのが正規の方法です。

現在の運用方法は、スカイプのアクセスだけで、音声のやり取りをするのみに限定していますので、誤解されている部分があるような気がします、JJ1SXAのリモートシャックの一部使用ではあるものの、あくまでも、JJ1SXAのゲストオペ運用です、従って、呼称するコールサインは「JJ1SXA ゲストオペ自局コールサイン」となります、以上のことをご理解ください。

ロールコールのチェックインは、スカイプのアクセスの他、公衆回線の携帯電話、固定電話でもできます、この場合は、電話の信号をリモートシャック用とは別のPCに入出力、このPCとリモートシャック用のPCをスカイプでつなぎます。

ぜひロールコールのチェックインに積極的にご利用ください、また、リモートシャックで使う無線機の出力は50Wでの運用ですが、皆さん、ほとんどが3アマ以上の資格者でするので問題無しです。

ちなみにeQSOに使用している無線機も出力は50Wです、こちらは「自局コールサイン eQSO 経由」または「自局コールサイン via eQSO」が正しいコールサインの呼称です。